

まつの話題

ふるさとに社をつくる

下名連石自治振興会が3月20日、町の木であるモミジなど9種類の花木の植栽を行いました。これは「ふるさとの四季を彩る



植栽でいい汗をかきました。

景観セミナーを開催

3月4日、白糸第一自治振興区、通潤地区、土地改良区、教育委員会の



景観セミナーの様子

流の事例等について非常に分かりやすい内容で、参加者の方も熱心に聞き入っていました。

共催で第2回景観セミナーが、通潤山荘にて開催されました。講師は熊本県ふるさと水と土指導員の長井勲氏。通潤用水と白糸台地周辺の歴史・文化遺産とその活用について話されました。白糸台地の歴史的環境から通潤用水建設時の時代背景、地域の文化資産を活かした都市交

もりづくり運動事業」を活用したものです。地域で管理を行っていくことで、森の大切さ、治山治水の啓蒙、さらには子どもたちの環境学習の場所として活用していくと企画されました。

植栽には、地元の子どもから大人まで、さらに矢部高校生19名や山風華、丸山ハイランドの方々など90名の参加があり、里山を思う良い一日になりました。

淡路人形座公演

3月13日、人形芝居発祥の地といわれる、兵庫県南あわじ市の淡路人形座の公演が清和文楽館で行われました。500年の歴史を誇る淡路人形芝居。坂東千太郎座長率いるこの淡路人形座では、いままでに清和文楽保存会の2名の太夫が研修を受けるなど清和文楽と関係の深い団体です。この日は清和文楽人形芝居保存会による「寿式三番叟」と淡路人形座による「鬼一法眼三略の巻」「五条橋の段」、「八百屋お七火の見櫓の段」が



牛若丸と弁慶が剣を交える「五条橋の段」



卒業を祝う会出席者の皆さん

つらくなくなったときはいつでも戻ってきて、家族や地域の人に元気をもらってほしい」と激励しました。

上演され、文楽ファンで満員となった会場を沸かせました。

福祉まつり



「ご老人から学ぶことはたくさんある」と米満さん

山都町社会福祉協議会が主催する「福祉まつり」が、3月14日、蘇陽総合支所営農ホールで行われました。活動発表では、菅尾小学校のボランティア活動や、社協蘇陽支部職員のソーラン節などが披露され、会場を盛り上げます。基調講演では、「この地で生きぬく力と知恵」と題し、特別養護老人ホーム天寿園（熊本市）施設長の米満淑恵さんが介護現場での体験をもとに、認知症の方への対応方法などを話されました。

蘇陽中学校が30周年

3月19日、蘇陽中学校の開校30周年を祝う記念式典が蘇陽中学校体育館で行われ、在校生やPTA、地域の方々が蘇陽中の築いてきた歴史に思いをはせました。

蘇陽中学校は、昭和55年、馬見原・菅尾・柏・東竹原の4つの中学校が統合して誕生。以降、剣道、ソフトテニス、陸上、バレーボールなどスポーツでの九州及び全国での活躍や、環境教

育に力をいれて、学校版環境ISOコンクールを3年連続で受賞するなど、文化教育面でも数々のすばらしい功績を残してきました。記念式典では、卒業生である、森下由輝さん（世界陸上8位入賞、旭化成陸上部コーチ）と田中洋平さん（テレビリポーター）の講演もあり、ともに中学校時代の貴重な経験が、現在の活躍の源だったと話されました。

ありがとうパーティ

3月9日、馬見原小5年生が、馬見原東部老人クラブのみなさん（上差尾）を招いて「ありがとうパーティ」を開きました。21年度に行われたもち米作りとソバ作りへの協力に感謝するためのもので、5年生10名で作った、だご汁やおこわ、おはぎに白玉団子などもち米を使った料理がテーブルに並びました。たくさんのごちそうにびっくりされた老人クラブのみなさん。心のこもったもてなしに箸が止まらず、大満足のパーティとなりました。



料理には感謝の気持ちが込められました。

家族経営協定調印式

3月30日、千寿苑で平成21年度家族経営協定調印式が行われました。本協定は、家族間で仕事割りや賃金、休日などを取り決め、家族の中で役割分担と責任を明確にします。町内では昨年までに147組の家族が締結されています。

今回協定を結んだ4組の農家の皆さんを紹介します（敬称略）。岩永一則・京子・圭土・里枝（下名連石）、國武國利・元子・貴文（田小野）、佐藤章・知鶴美・友治（大平）、興



招修・新子・大作（上差尾）